

入館無料

古代文化財

の謎をとく

— X線で見えてくる昔のこと —

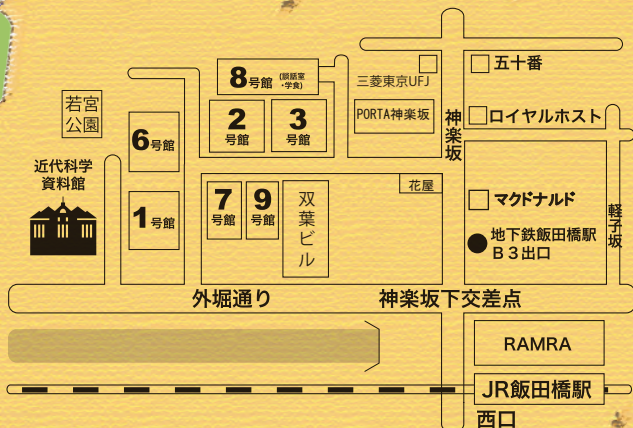
2013年11月5日(火) ~ 12月14日(土)

東京理科大学近代科学資料館 2F 企画展示室

開館時間 10:00 ~ 16:00

休館日 日・月

※11月23日(土) 24日(日)は理大祭中につき開館



アクセス

JR総武線「飯田橋」徒歩4分

地下鉄「飯田橋」徒歩3分

主催

東京理科大学近代科学資料館

後援

東京理科大学 理学部応用化学科 中井研究室

古代文化財の謎をとく

—X線で見えてくる昔のこと—

物質には、その誕生の起源に関する情報が含まれていて物質史の情報とよび、それを科学分析により読み解くことができます。遺跡からの出土遺物など貴重な文化財は壊さずに分析することが重要で、非破壊分析が可能な、ポータブルX線分析装置を用いた文化財分析の成果を紹介します。特に、ガラスに注目し、国内外の出土品の分析により明らかとなった日本の古代ガラスの起源を紹介し、古代ガラスの魅力をご紹介します。科学分析を通して、見た目からではわからない内部の隠された謎を読み解く文化財の科学分析の魅力を紹介する企画展です。



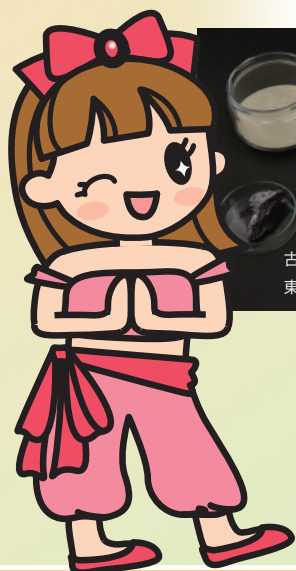
モザイクガラス 古代エジプト美術館所蔵



主な展示品

- 古代エジプト美術館所蔵古代ガラス
- 熊本県立装飾古墳館所蔵古墳出土ガラス
- 岡山市立オリエント美術館所蔵古代西アジアのガラス
- 成田美術館所蔵ルネ・ラリックの不思議な二色ガラス
- 唐招提寺国宝「白瑠璃舍利壺」復元品

近代科学資料館
2F 企画展示室



古代ガラスの原料
東京理科大学理学部応用化学科中井研究室提供



古墳出土ガラス 熊本県立装飾古墳館所蔵

関連イベント

- 11/9, 16, 30 (土) 14:00 ~ ミニ解説ツアー
- 11/23 (土) 理大祭 特別講演 11号館11-7教室
東京理科大学理学部応用化学科 中井 泉 教授
「古代文化財の謎をとく」14:00 ~ 15:10
※事前申込不要 来聴歓迎



東京理科大学 近代科学資料館

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

TEL.03-5228-8224 FAX.03-5228-8116

●開館時間 10:00 ~ 16:00

●休館日 日曜・月曜・祝日・大学の休業日

<http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum>



入館無料